

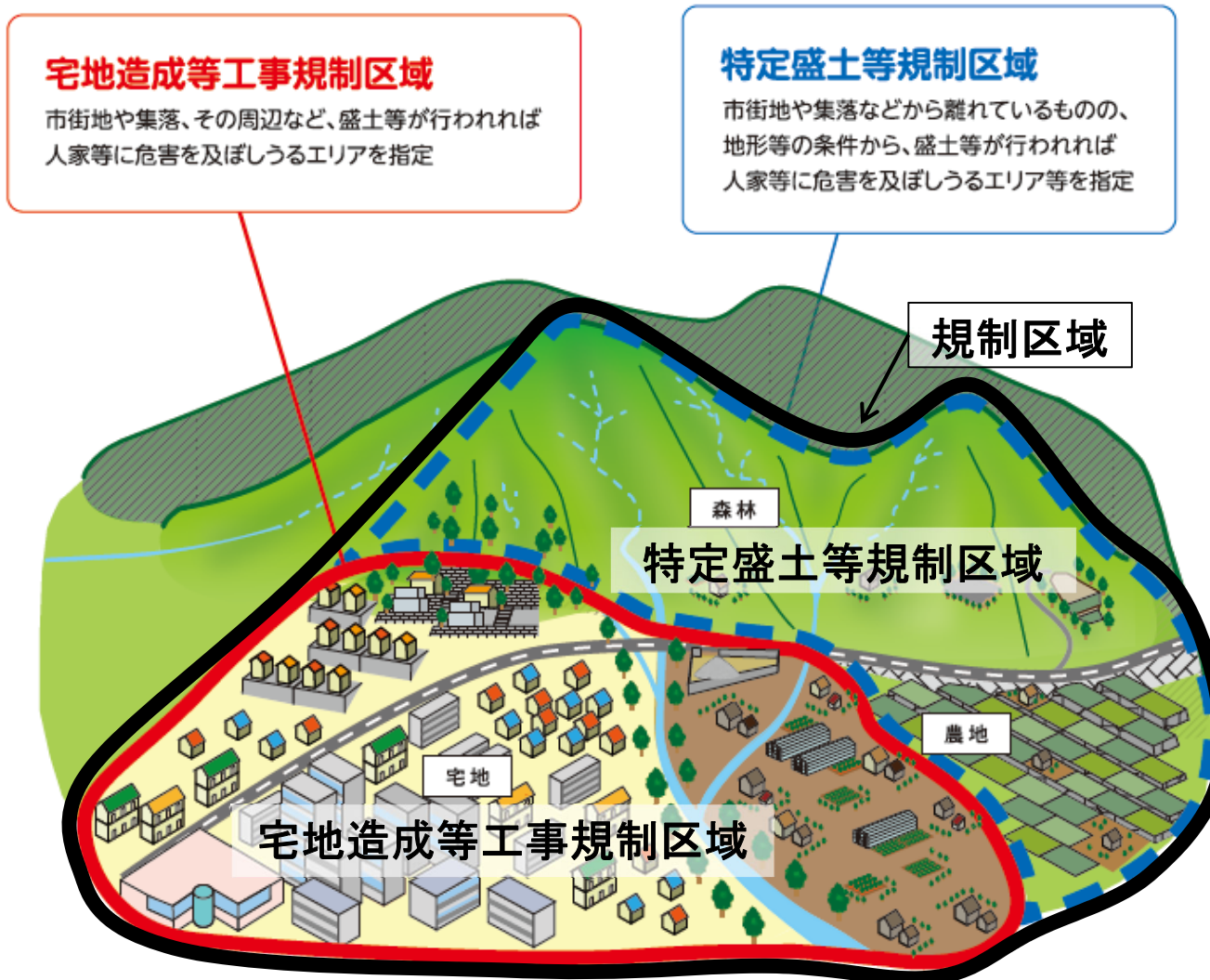


# 規制区域の候補区域について

## 神奈川県

# 1. 規制区域の種類について

- 盛土規制法には2種類の規制区域があります



## 2.規制区域の設定方法について

### ■ 以下の条件で県内全域で規制区域の設定を行いました

#### 宅地造成等工事規制区域

##### (A) 市街地等区域の抽出

- ①市街地・市街地になろうとする地域の抽出  
・**都市計画区域**を抽出
- ②集落等の抽出  
・都市計画区域外から**集落等**（要定義）を抽出  
（定義）建築物が3戸以上あり、その間隔が50m以内
- ③市街地・市街地になろうとする地域、集落等に  
**隣接・近接する土地の区域**（要定義）の抽出  
（定義）平地は50m、傾斜地は250m

#### 特定盛土等規制区域

##### (B) 盛土等に伴う災害により居住者等の生命または身体に 危害を生ずる恐れが特に大きいと認められる区域の抽出

- 市街地等区域のほか、市街地等区域以外の**保全対象**（要定義）を抽出し、以下を実施  
（定義）市街地・集落等に含まれない人家・施設、  
歩道、庭園路を含む国土地理院の地図記号の道路
- ①盛土等の崩落により流出した土砂が土石流となって溪流等を流下し、保全対象の存する土地に到達することが想定される溪流等の上流域の抽出
  - ②盛土等の崩落により**隣接近接する保全対象の存する土地に土砂の流出が想定される区域**（要定義）の抽出  
（定義）平地は50m、傾斜地は250m
  - ③その他の区域の抽出  
土砂災害発生の危険性を有する区域、過去に大災害が発生した区域等の抽出（土砂災害警戒区域、山地災害危険地区）

↓ ↓

地形的条件等を勘案した宅地造成等工事規制区域・特定盛土等規制区域の候補区域の設定

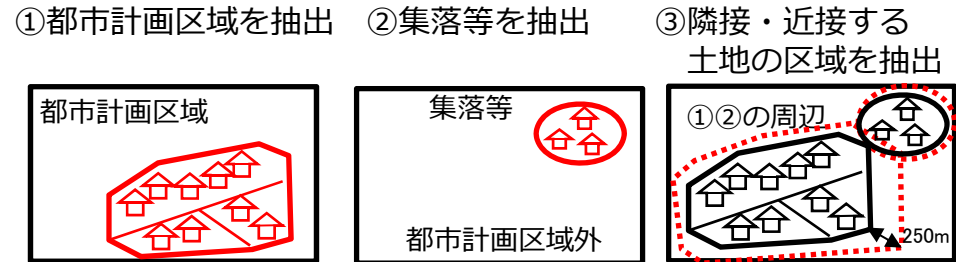
# 3. 宅地造成等工事規制区域の設定の流れ

## 宅地造成等工事規制区域

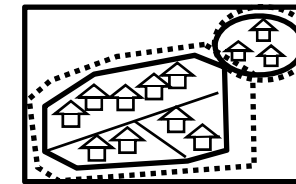
### (A) 市街地等区域の抽出

- ①市街地・市街地になろうとする地域の抽出  
・**都市計画区域**を抽出
- ②集落等の抽出  
・都市計画区域外から**集落等**（要定義）を抽出  
（定義）建築物が3戸以上あり、その間隔が50m以内
- ③市街地・市街地になろうとする地域、集落等に  
**隣接・近接する土地の区域**（要定義）の抽出  
（定義）平地は50m、傾斜地は250m

### 抽出イメージ



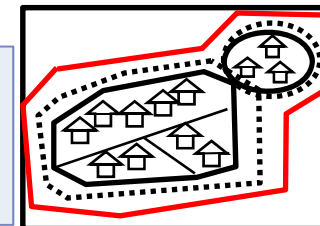
①②③の重ね合わせ



### 地形的条件等を勘案し区域を設定

#### 【基礎調査実施要領の解説】（国土交通省）

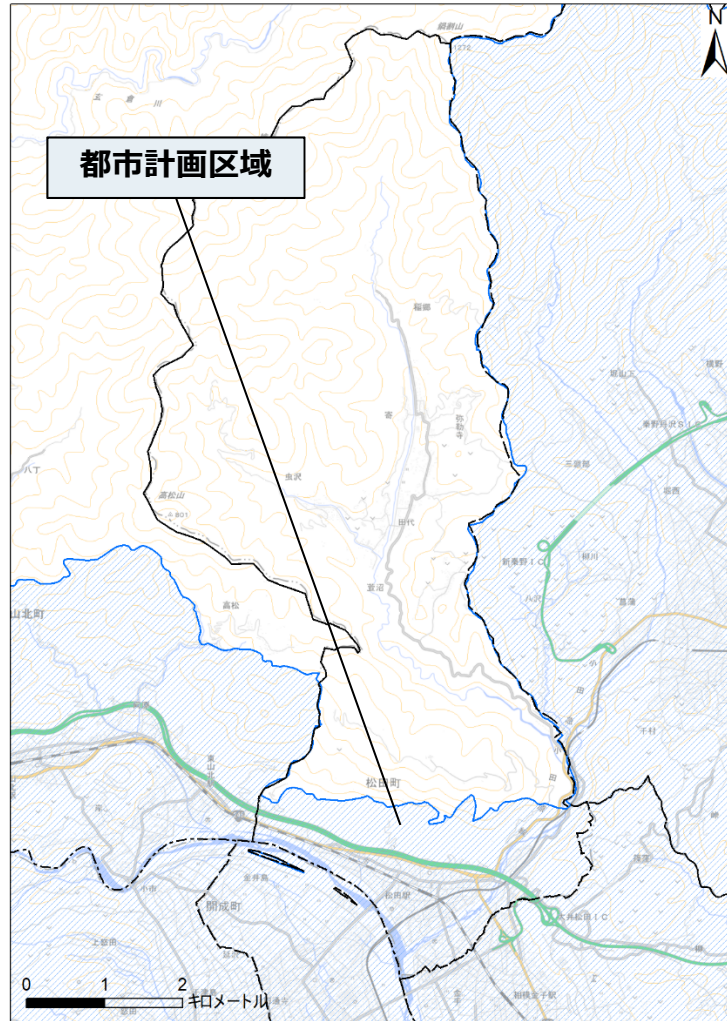
区域の設定に当たっては、尾根、傾斜変換点等の地形的条件のほか、河川、水路、道路、鉄道、同一の字等により規制区域界が明瞭に判断できる諸条件を勘案して境界を設定する。また、特定盛土等規制区域の候補区域との比較を行い、宅地造成等工事規制区域に含むべきエリアが適切に設定されているか確認し、必要に応じて候補区域の修正を行う。



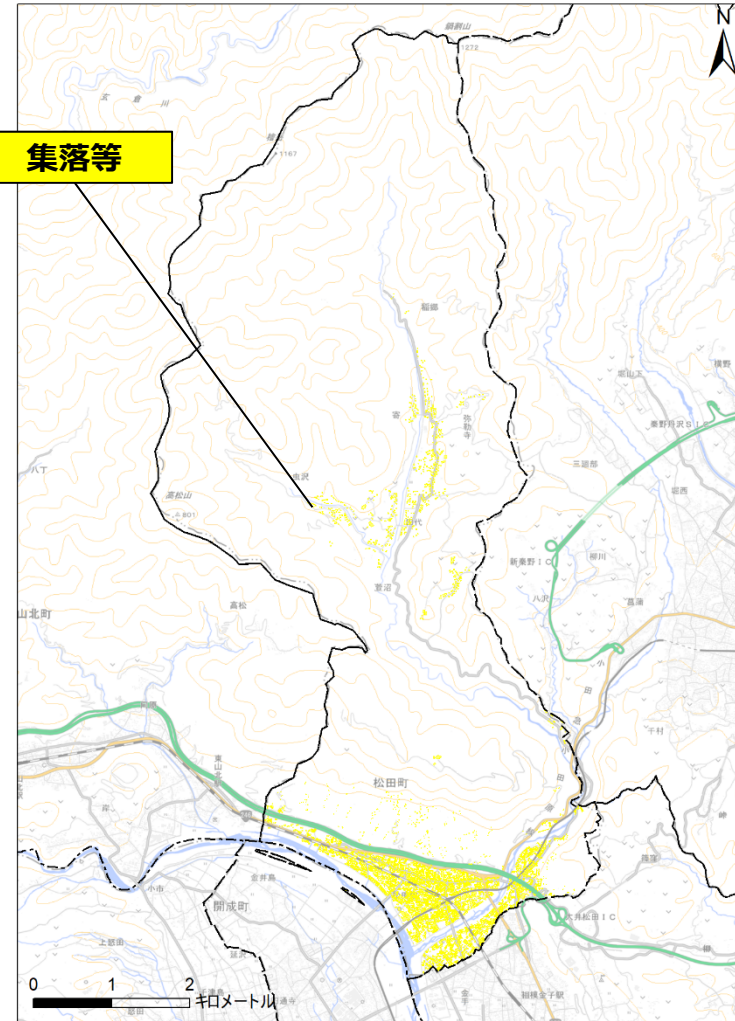
「基礎調査実施要領の解説」（国土交通省）に基づき、候補区域の修正を行う

# 3-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

①都市計画区域を抽出

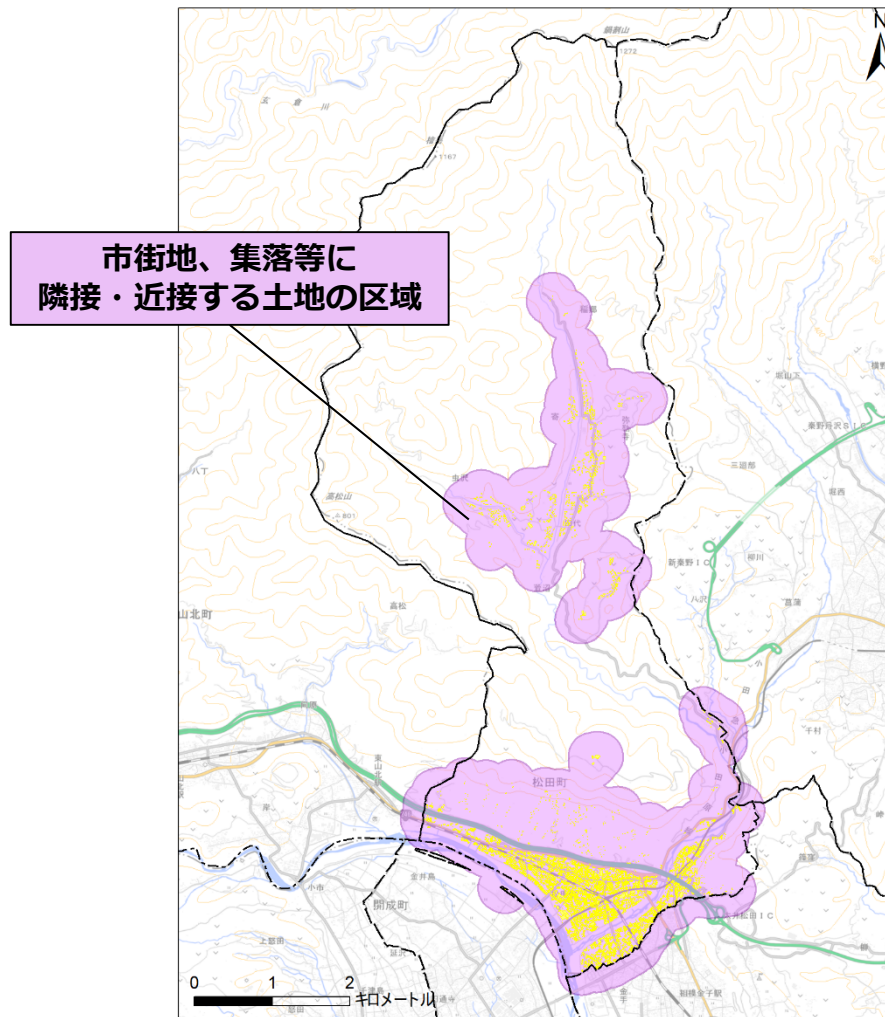


②集落等 (建築物が3戸以上あり、その間隔が50m以内) を抽出



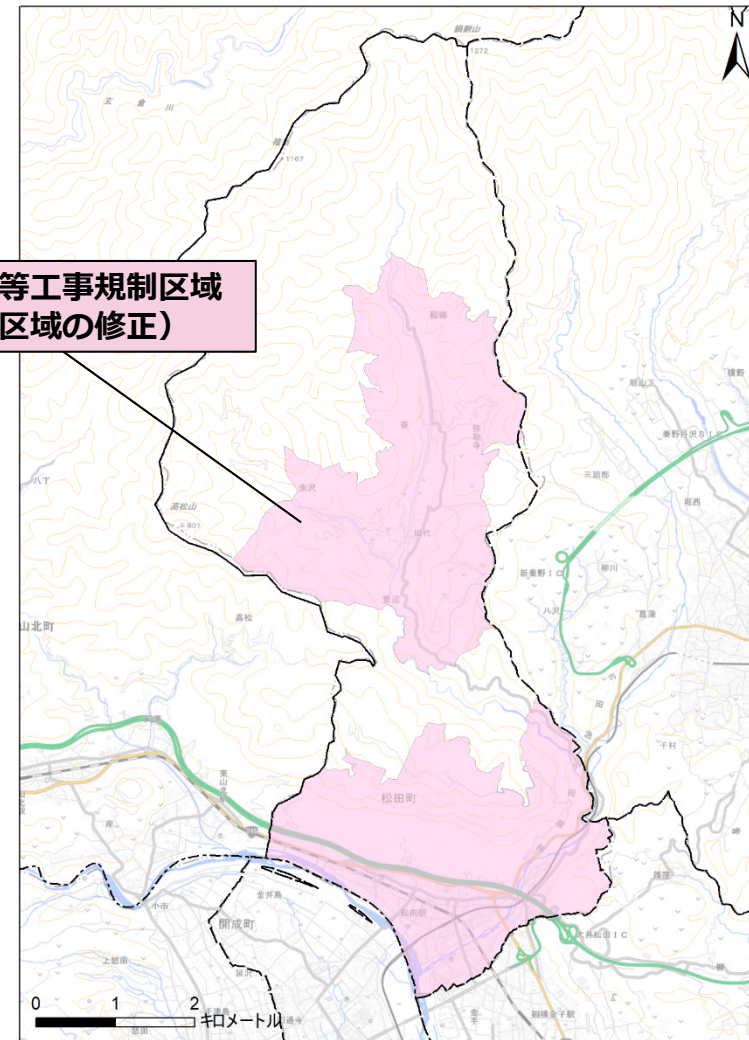
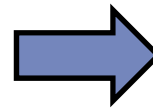
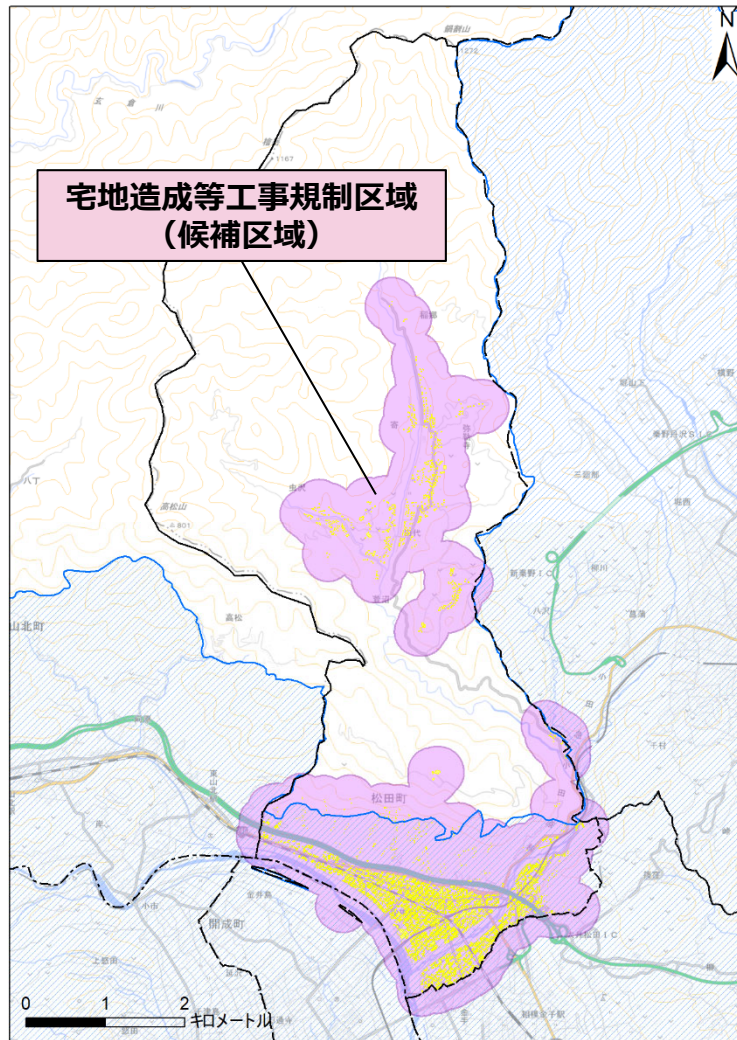
## 3-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

③市街地、集落等に隣接・近接する土地の区域  
(平地は50m、傾斜地は250m) を抽出



# 3-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

①～③を重ね合わせ後、地形的条件等を勘案し区域を修正



# 4. 特定盛土等規制区域の設定の流れ

## 特定盛土等規制区域

(B) 盛土等に伴う災害により居住者等の生命または身体に危害を生ずる恐れが特に大きいと認められる区域の抽出

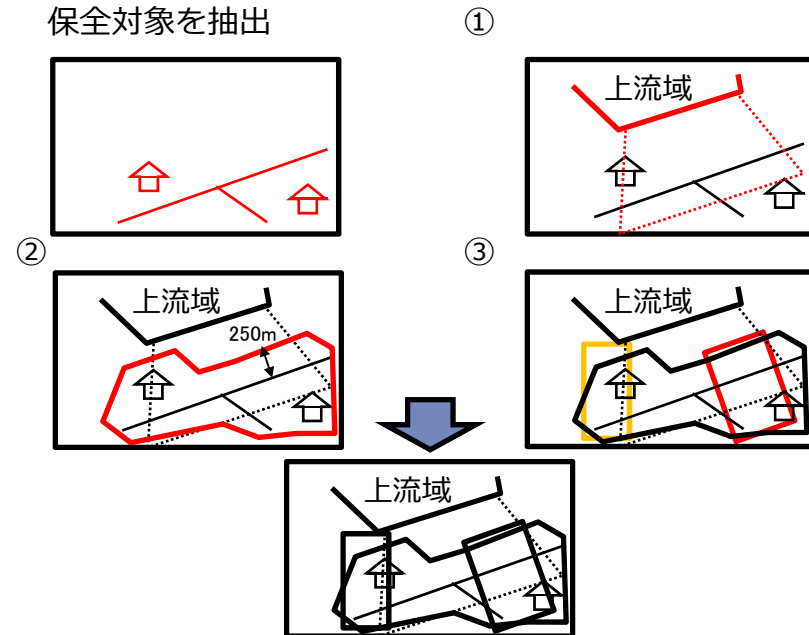
市街地等区域のほか、市街地等区域以外の**保全対象**（要定義）を抽出し、以下を実施

（定義）市街地・集落等に含まれない人家・施設、  
徒歩道、庭園路を含む国土地理院の地図記号の道路

- ① 盛土等の崩落により流出した土砂が土石流となって溪流等を流下し、保全対象の存する土地に到達することが想定される溪流等の上流域の抽出
- ② 盛土等の崩落により隣接近接する保全対象の存する土地に土砂の流出が想定される区域（要定義）の抽出  
（定義）平地は50m、傾斜地は250m
- ③ その他の区域の抽出  
土砂災害発生の危険性を有する区域、過去に大災害が発生した区域等の抽出（土砂災害警戒区域、山地災害危険地区）

## 抽出イメージ

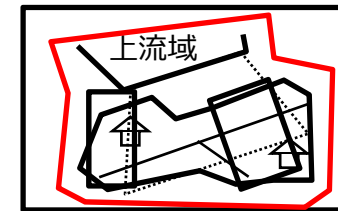
保全対象を抽出



地形的条件等を勘案し区域を設定

### 【基礎調査実施要領の解説】（国土交通省）

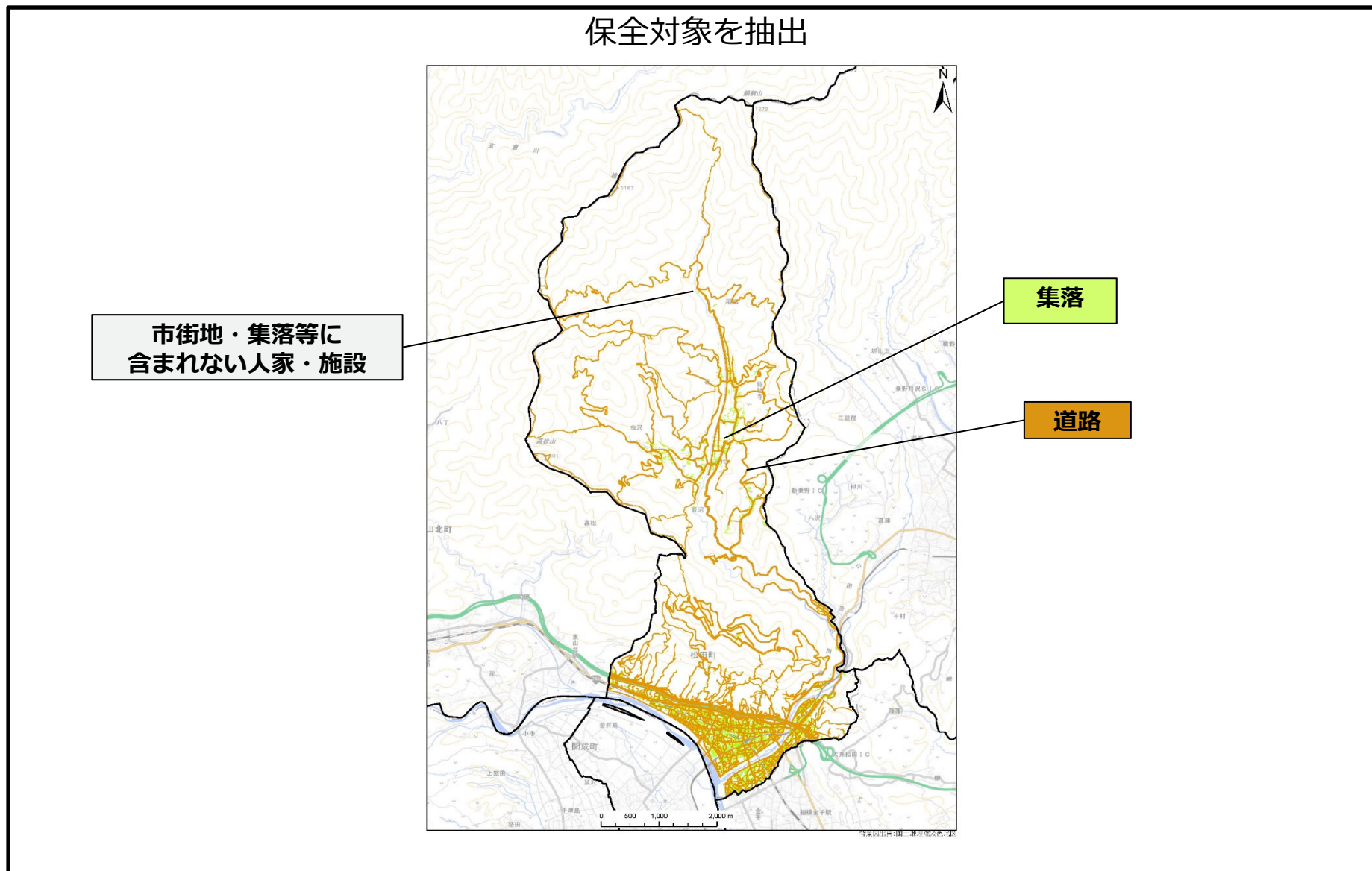
区域の設定に当たっては、宅地造成等工事規制区域と重複する区域を除外するとともに、尾根、傾斜変換点等の地形的条件のほか、河川、水路、道路、鉄道、同一の字等により規制区域界が明瞭に判断できる諸条件を勘案して境界を設定する。また、宅地造成等工事規制区域の候補区域との比較を行い、特定盛土等規制区域に含むべきエリアが適切に設定されているか確認し、必要に応じて候補区域の修正を行う。



「基礎調査実施要領の解説」（国土交通省）に基づき、候補区域の修正を行う

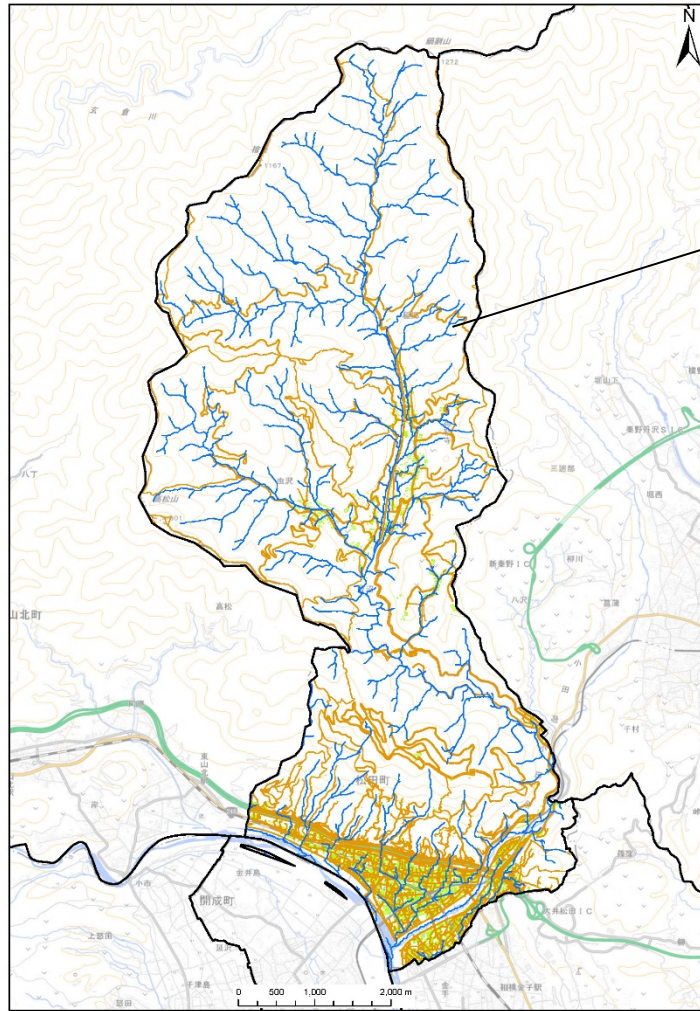


# 4-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

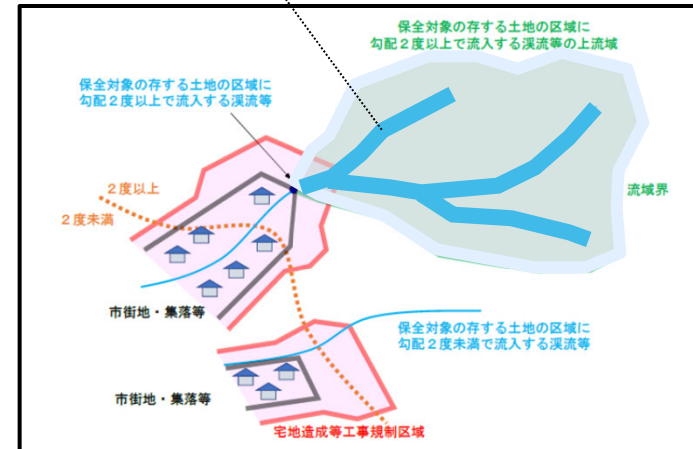


# 4-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

①盛土等の崩落により流出した土砂が土石流となって溪流等を流下し、保全対象の存する土地に到達することが想定される溪流等の上流域区域を抽出



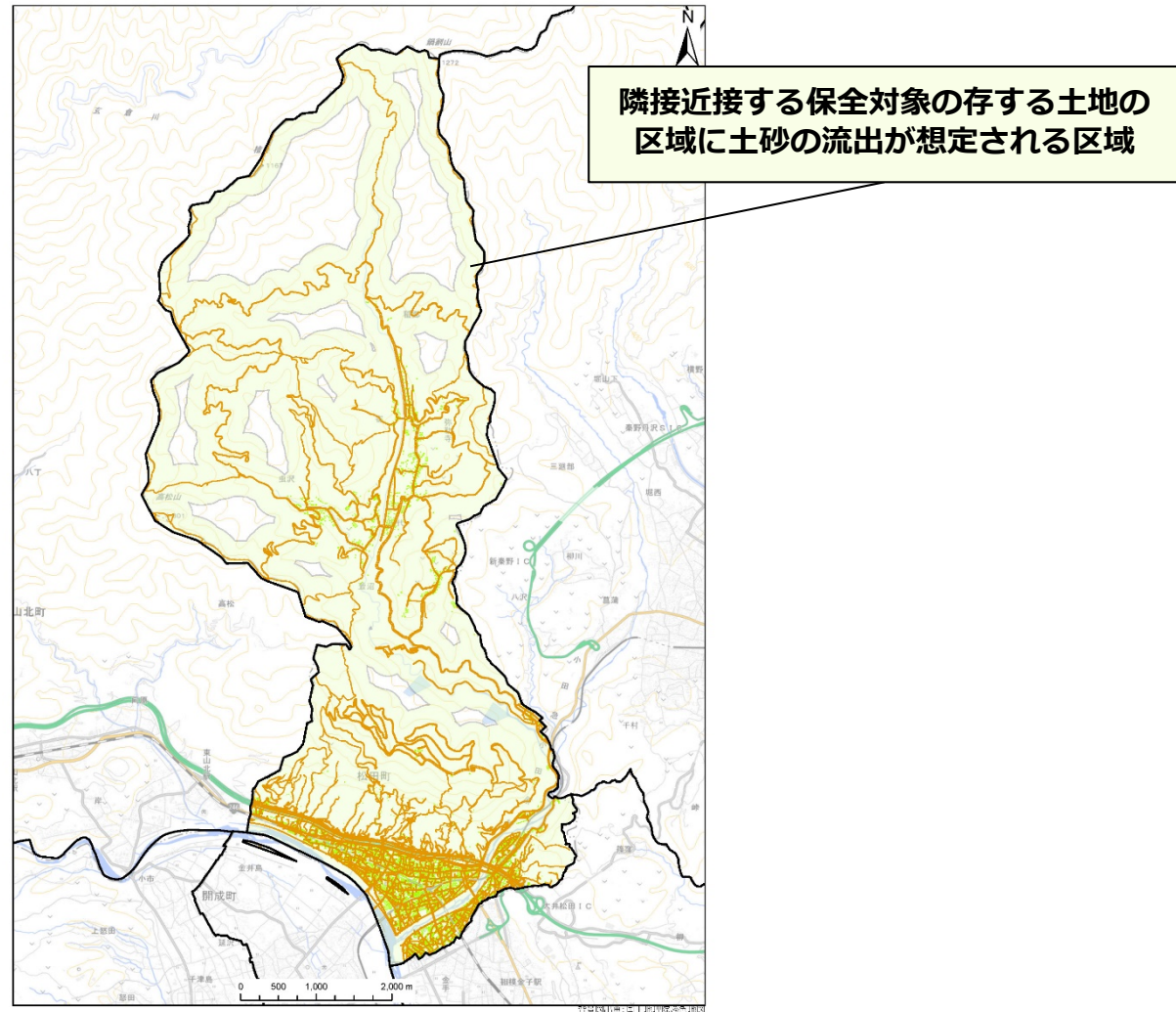
保全対象の存する土地の区域に対し、勾配2度以上で流入する溪流等



抽出のイメージ (国解説より)

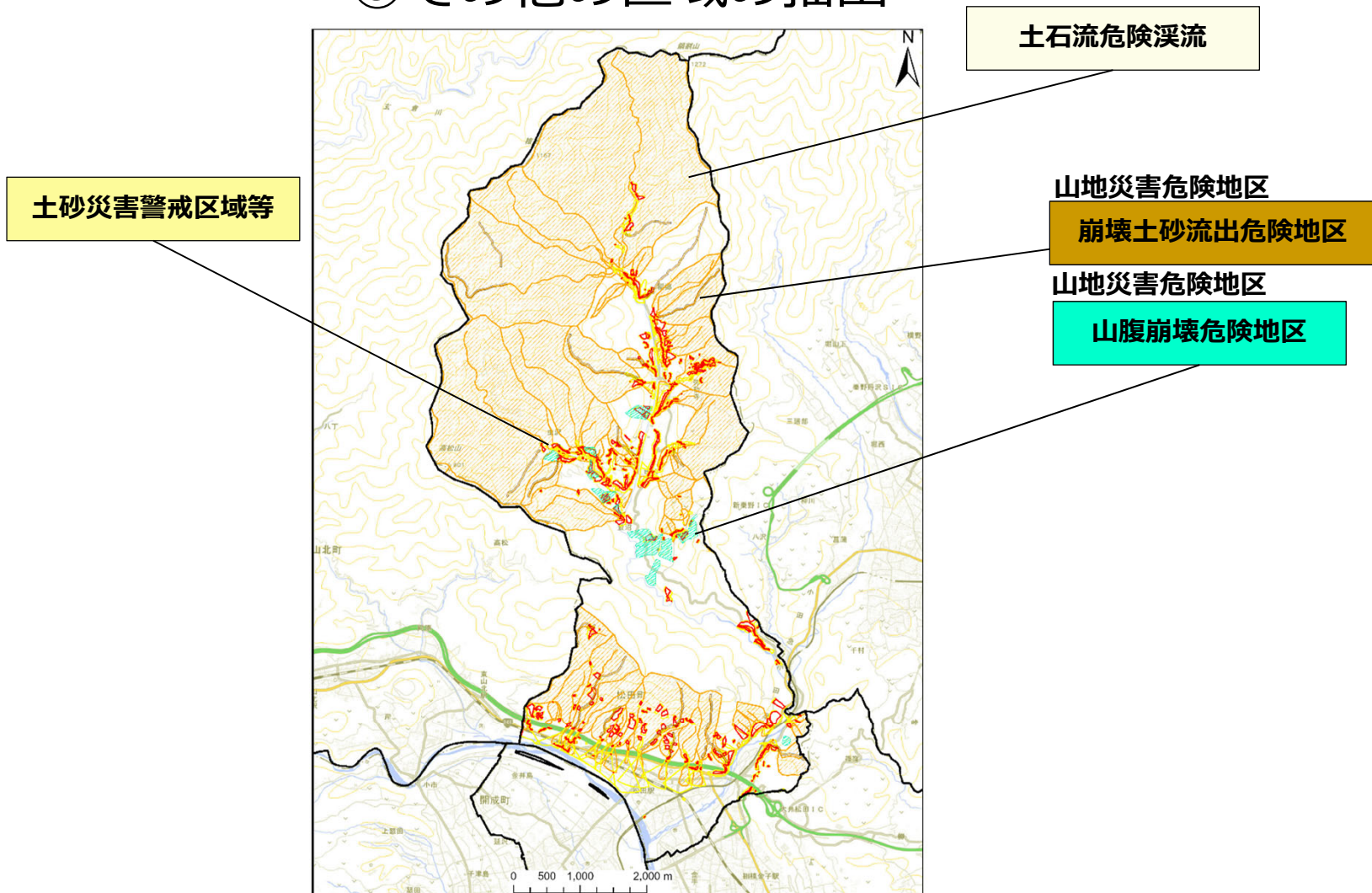
## 4-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

- ②隣接近接する保全対象の存する土地に土砂の流出が想定される区域  
(平地は50m、傾斜地は250m)を抽出



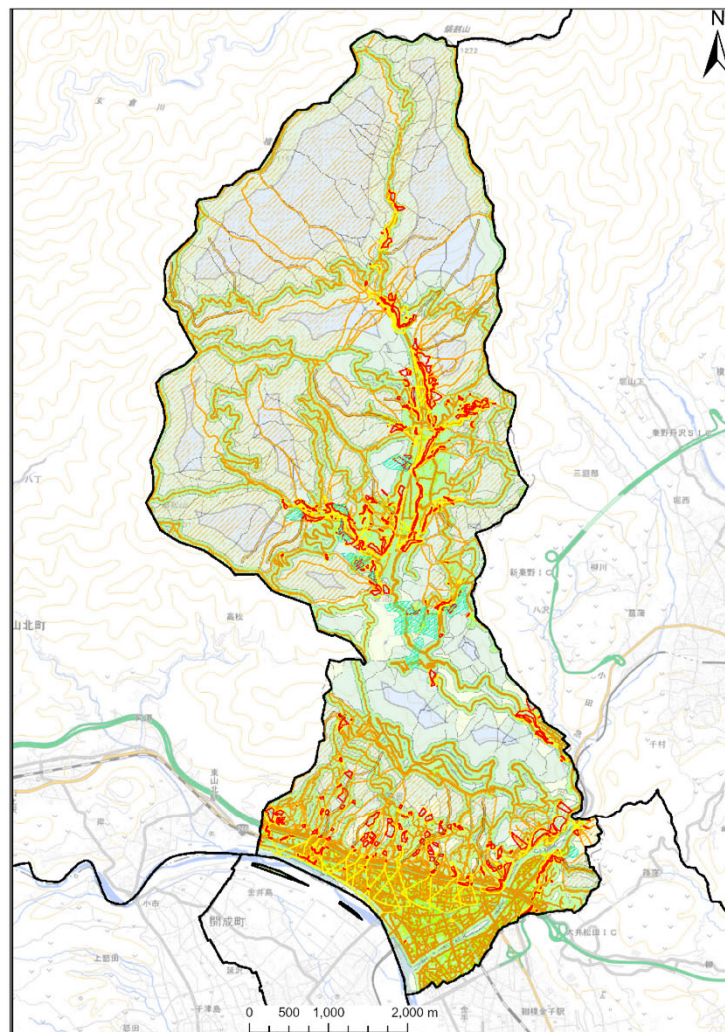
# 4-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

## ③ その他の区域の抽出



## 4-1. 区域の設定の流れ (抽出イメージ)

保全対象及び①～③の重ね合わせ

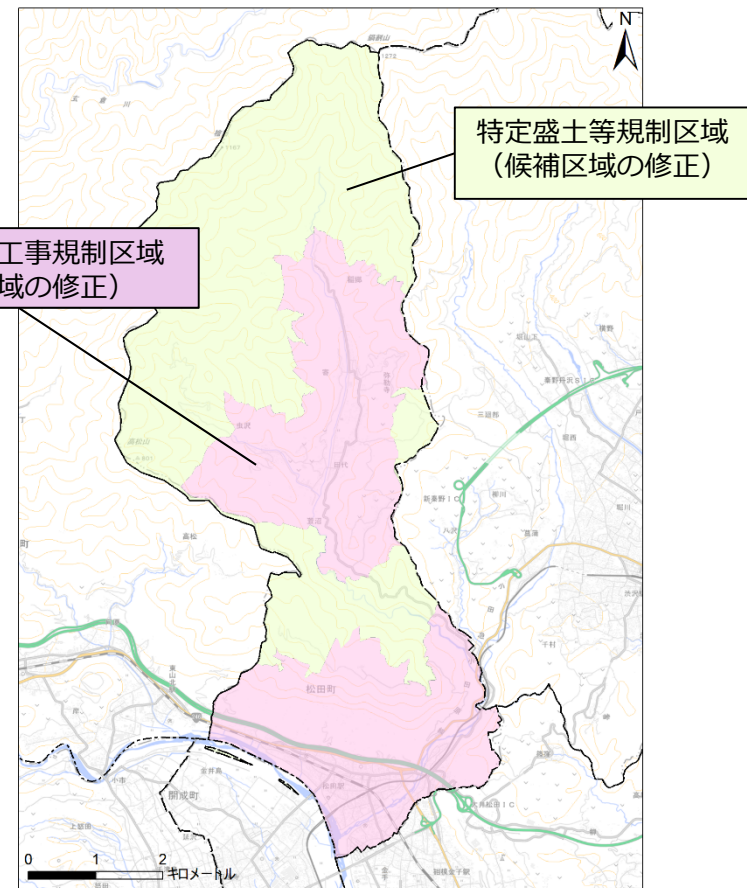
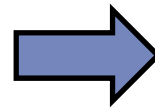
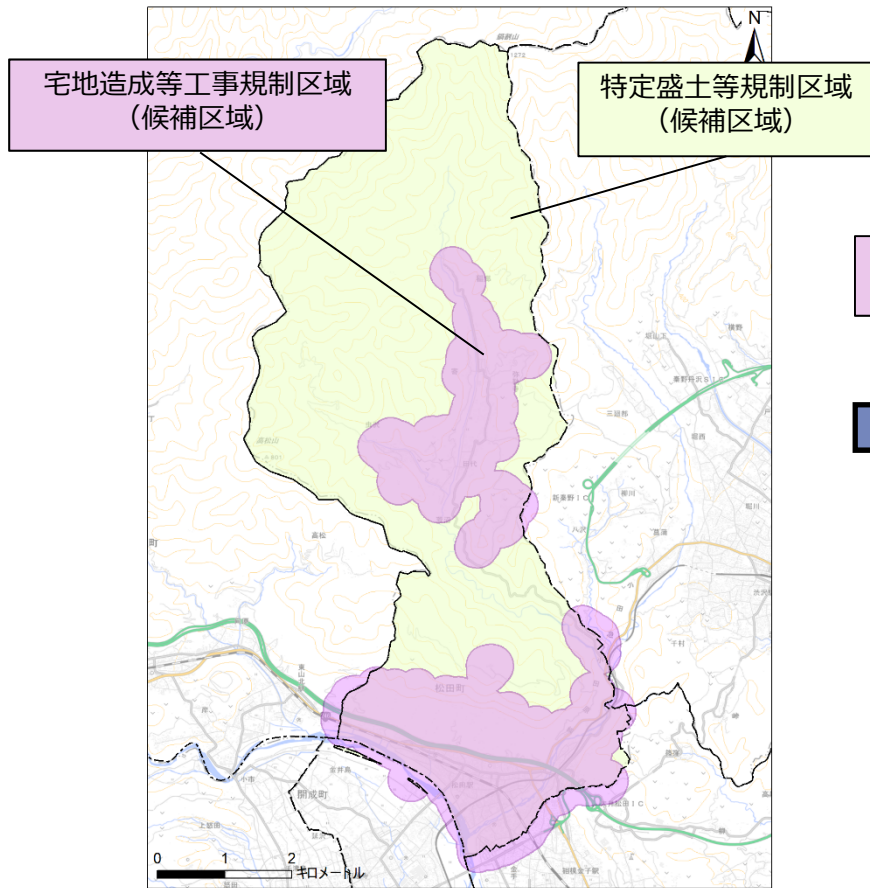


# 5. 地形・地物等を勘案した区域の設定について

宅地造成等工事規制区域と特定盛土等規制区域の候補区域を重ねる



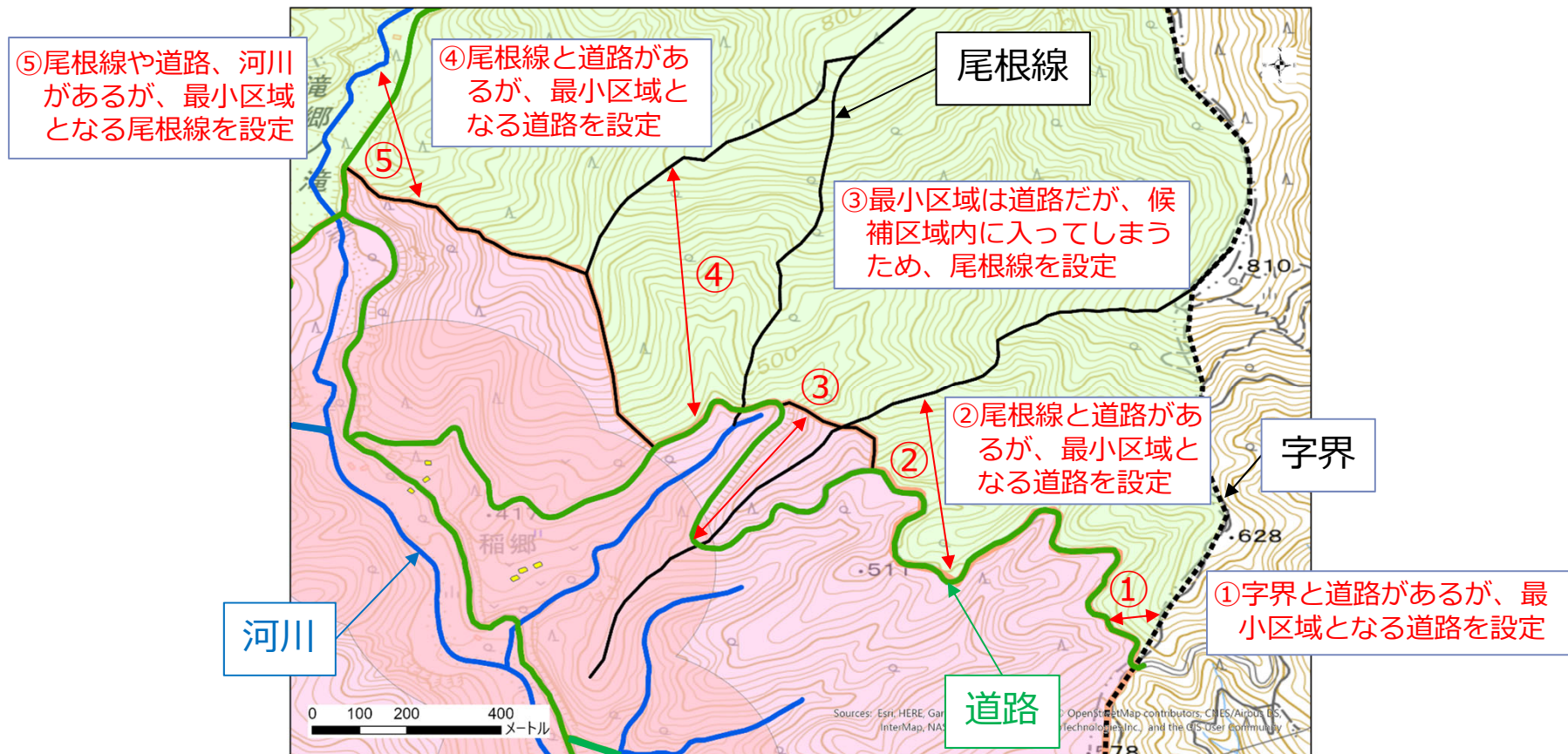
地形・地物等を勘案し、候補区域の修正を行う



# 5. 地形・地物等を勘案した区域の設定について

## 地形・地物等を勘案した区域の修正

※尾根、傾斜変換点等の地形的条件や、河川、水路、道路、鉄道、同一の字等に基づき、宅地造成等工事規制区域の範囲が最小となるよう規制区域の修正を行う



# 6.規制区域の候補区域

■ 設定作業を実施した結果、以下の候補区域となりました

